



Hitotsuyama Racing

Press release - 2011. 0902 - 009

2011年9月2日

Race Report



Super Taikyu 2011 Series Round-3 / Okayama International Circuit

(2011. 8. 27-28.)

Hitotsuyama Racing

Press release - 2011. 0902 - 009

2011年9月2日

開幕3連勝を達成し、最終戦を待たずしてシリーズチャンピオンを獲得

Hitotsuyama Racingは8月27～28日に岡山国際サーキットで開催されたスーパー耐久第3戦において開幕3連勝を達成、最終戦を待たずしてシリーズチャンピオンを獲得することができました。

8月27日午後、Aドライバー予選の開始と同時にサーキットには大粒の雨が降り出しました。監督を務めるノバ・エンジニアリングの森脇は、コースインした藤井誠暢に対し雨が強まることを告げ、早めにタイムアタックを行うよう指示を出します。藤井誠暢はアウトラップにタイヤを可能な限り温めると2周目にはアタックを開始。しかし、セクター3に差し掛かる頃にはスコールのような大雨に降られ、ドライタイヤではコース上にマシンを留めることすら困難な状況に。それでも藤井誠暢はコントロールラインまでマシンを戻しなんとか計測を終えます。チームはこれ以上のタイムアップは難しいと判断、藤井誠暢は計測1周でマシンをピットに戻し他チームの状況を見極めることになりました。

しかし、この悪天候の中タイムを更新することのできるマシンは現れず、最終的には2位のマシンに6秒128の大差をつけAドライバー予選を終えました。

続いて行われたBドライバー予選は、路面が乾き始める難しいコンディションの中開始されました。敢えてリスクを取る必要のない都筑晶裕は、レインタイヤでコースイン。序盤こそドライタイヤ、レインタイヤのタイムは均衡していましたが、終盤にかけ路面コンディションは急速に改善していきました。路面が乾けば乾くほどレインタイヤを履く都筑晶裕は厳しい状況に追い込まれていきますが、それでも総合3位に留まりBドライバー予選を終えました。

予選結果はA、Bドライバーの合算タイムによって決定するため、Aドライバー予選で抜群のタイミングを見出したHitotsuyama Racingは2位に2秒756の差をつけ、ポールポジションの座を獲得することができました。

また、その後行われたCドライバー予選では、マイケル・キムが決勝を見据えてロングステントの練習を行いました。燃費走行やバックマーカーの処理を重点に置いた走行となりましたが、しっかりと総合1位のタイムをマークしチームに貴重なデータを持ち帰りました。

8月28日、3時間の決勝レースは13時30分にスタート。スタートドライバーを担当する藤井誠暢は1位で1コーナーをクリアするとオープニングラップだけで2位に約3秒の差を築き、独走態勢に。3周目あたりから早くもバックマーカーが現れましたが、藤井誠暢はその処理もスムーズにこなし、約60分間のステントを安全に走り切りました。

藤井誠暢からステアリングを引き継いだマイケル・キムも、約60分間の担当ステントを終始1分38～39秒台の安定したタイムで周回。2位との差をしっかりと広げ最終ステントを担当する都筑晶裕にステアリングを託しました。フィニッシュまで残り30分のところで他チームのマシンがクラッシュしたことにより、セーフティーカーが導入されました。コース上に撒かれたオイルの処理に時間を要し、残り約15分でレース再開。都筑晶裕は最終ラップまで決してペースを緩めることはなく、チームスタッフが出迎える中、堂々のフィニッシュ。開幕3連勝、そしてシリーズチャンピオンを成し遂げました。

今シーズンから導入され、当初から多くの関係者、そしてファンの皆様に注目をいただいているST-Xクラスでシリーズチャンピオンを獲得できたことは、我々Hitotsuyama Racingの誇りであり、また皆様からご支援、ご声援のおかげで成し遂げることができたと考えております。

今後も次なるステップへ向け、チーム一丸となって臨んで行く次第でございます。

変わらぬご支援、ご声援、宜しくお願い申し上げます。

Hitotsuyama Racing

Press release - 2011. 0902 - 009

2011年9月2日



■マシン概要

Machine :	Audi R8 LMS
Engine :	90° V10
Displacement :	5,200cc
Power :	500hp
Torque :	500Nm
Transmission :	Sequential 6-speed gearbox
Tyre :	Front 29/66-18 Rear 31/71-18
Weight :	1,300kg

■チーム体制

Team :	Hitotsuyama Racing
Director :	一ツ山 幹雄
Car No :	21
Driver :	藤井 誠暢 / 都筑 晶裕 / マイケル・キム
Maintenance :	NOVA ENGINEERING